

Hungary

～在ハンガリー日本国大使館～

2015年10月

—Monthly Review—

全22頁

政治・経済月報(2015年9月号)

政治・内政

- 移民・難民問題：難民キャンプ付近やセルビア国境付近で騒擾事案
移民・難民対策関連法改正案が可決・国境警備が厳格化
オーストリア、スロベニア、クロアチア、セルビアと国境を接する7県で難民に関する非常事態宣言発出
- ヘンデ国防相が辞任、後任にシミチコー人材相副大臣

政治・外交

- 移民・難民問題：オルバーン首相、ブリュッセルでEU要人らと会談
ファイマン・オーストリア首相と会談
- シーヤールトー外務貿易相：中国抗日戦争70周年式典出席
- 大統領、首相、外貿相：第70回国連総会出席

経済

- 中央統計局：第2四半期GDP（確報）、前年比+2.7%
- ハンガリー中央銀行：インフレ、GDP見通しを発表

○インフレ率	(y/y)	(2015年6月)	0.6% (食品：1.4% エネルギー：-2.7%)
		(2014年平均)	-0.2% (食品：-0.4% エネルギー：-11.7%)
○賃金上昇率	(y/y)	(2015年1-5月平均)	3.5% (民間：3.5% 公的：2.8%)
		(2014年平均)	3.0% (民間：4.3% 公的：1.2%)
○鉱工業生産	(y/y)	(2015年5月)	1.5%
		(2014年平均)	8.6%
○小売売上高 (暦調整後)	(y/y)	(2015年5月)	5.4%
		(2014年平均)	5.1%
○失業率(15-74歳)		(2015年4-6月平均)	6.9%
○政策金利		(2015年7月末)	1.35% (7月21日に0.15%利下げ)
○10年国債利回り			3.74%
○為替相場		(2015年7月末)	・1ユーロ = 309.11 フォリント
			・100円 = 227.49 フォリント
			・1ドル = 282.63 フォリント

《今月のトピックス》

■ I 内 政

- 1 移民・難民問題を巡る国内の動き
 - (1) 難民の大量移動の伴う混乱
 - (2) オーストリア国境までの難民の移送措置を決定・開始
 - (3) 移民・難民関連法改正案の一部可決
 - (4) ブダペスト市：政府の移民・難民政策への反対デモ
 - (5) ブダペスト市：与党フィデス支持団体による抗議活動
 - (6) 国境管理の厳格化
 - (7) 非常事態宣言の発出
 - (8) ハンガリー・セルビア国境付近での難民による騒擾
 - (9) クロアチアからの難民流入
 - (10) 国防法及び警察法の改正
- 2 国防相の交代
- 3 ロガーン・フィデス国会議員団長：新設ポストに就任

■ II 外 政

- 1 移民・難民問題関連
 - (1) オルバーン首相：EU 首脳と移民・難民問題への対応について会談
 - (2) ルーマニア国境へのフェンス設置計画
 - (3) オルバーン首相：臨時欧州理事会に出席
 - (4) オルバーン首相：ファイマン・オーストリア首相との会談
 - (5) スロベニア国境へのフェンス設置中止
 - (6) ピンテール内相：ジュニダル・スロベニア内相との会談
- 2 シーヤールトー外務貿易相：中国抗日戦争 70 周年式典出席
- 3 大規模 NATO 軍事演習の開催
- 4 第 70 回国連総会

■ III 経 済

- 1 8 月製造業購買担当者指数 (PMI), 7 月から回復
- 2 WizzAir：新格納庫を開設
- 3 モルガンスタンレー, 2015 年 GDP 成長率見通しを 2.9%に引き下げ
- 4 政府管理債務庁：国債の海外調達比率を引き下げ
- 5 8 月の新車販売台数は前年比 4.8%増
- 6 中央統計局：第 2 四半期 GDP (確報), 前年比+2.7%

Hungary

- 7 ハンガリー中央銀行：ブダペスト証券取引所を買収検討
- 8 Főgáz 社：GDF Suez 社を買収
- 9 中央統計局：消費者物価指数 4 ヶ月連続プラスならず
- 10 首相府：ハンガリー開発銀行，国内に 400 支店創設
- 11 新パイプラインによるスロバキアからのガス輸入開始
- 12 外務貿易省：新たな外貨資金調達スキームの設立
- 13 アウディ社：第 2 ロジスティックセンターを開設
- 14 Moody's：ハンガリーの格付けについて言及
- 15 BoA：Fitch の格付けの方向性についてコメント
- 16 S&P：ハンガリーの格付け，方向性ともに据え置き
- 17 ハンガリー中央銀行：政策金利据え置き
- 18 シーヤルトー外務貿易大臣，貿易ハウスの日本オフィス設立可能性について発言
- 19 ハンガリー中央銀行：インフレ，GDP 見通しを発表
- 20 ハンガリーにおけるガス備蓄の現状
- 21 ハンガリー中央銀行：新 20,000 フォリント紙幣発行
- 22 MVM：大規模太陽光発電所建設に着手
- 23 VW 社の 200 万台のエンジンがハンガリー工場で製造
- 24 ハンガリーの国際競争力ランキング，第 63 位に後退

■ IV その他

- ・ハンガリー経済データ・9月の選挙・支持政党に関する世論調査
- ・主な出来事

※本資料は当該月間のハンガリー紙等の報道をベースにとりまとめたものです。

I 内政

1 移民・難民問題を巡る国内の動き

(1) 難民の大量移動の伴う混乱 (3日)

午前8時過ぎ、ハンガリー警察がブダペスト東駅構内への難民の立ち入り規制を解除したことを受け、多数の難民が駅構内に停車中の列車に乗車し、午前11時過ぎにショプロン方面に出発したが、列車は、ブダペストから西に約35km離れた難民キャンプがあるビチケ駅で警察により停車させられ、警察から、正式な書類を所持しなければ国外に向かうことはできないとの説明とともに降車が命じられた。警察の護衛の下でビチケ難民キャンプに移送された難民もいたが、それ以外は降車を拒否し、そのまま列車内で座り込みの抗議活動を行った。また、ビチケ難民キャンプ行きのバスへの乗車を拒否した難民も多くいた。

ハンガリー国営鉄道(MÁV)は、安全対策上の理由から、ブダペストから西欧諸国行きのすべての国際列車の直行運行を停止し、国内線のみでの運行とすると発表した。

(2) オーストリア国境までの難民の移送措置を決定・開始 (4日)

ブダペスト東駅に滞留していた難民の一部約1200人が高速道路M1を、約300人がウィーンに向かう主要鉄道線路を歩いてオーストリアを目指し始めたため、政府は難民対策臨時会合を開き、同日午後9時過ぎ難民に対し、オーストリアとの国境の町ヘジェシュハロムまで移動するためのバス約100台をハンガリー政府が提供することを発表した。

(3) 移民・難民関連法改正案の一部可決 (4日)

臨時国会が召集され、移民・難民対策法案パッケージ全13本のうち10本が賛成140票(与党フィデス、KDNP及び野党ヨッピク)、反対33票(野党社会党及びLMP等)により可決された。これによりフェンスの破壊等が厳罰化され、難民流入に関する非常事態宣言の発出が可能となった。

(4) ブダペスト市：政府の移民・難民政策への反対デモ (13日)

ブダペスト市内において、野党「共に(EGYÜTT)」のユハース副代表の主催で「恥を知れ、オルバーン」デモが実施され、3～4千人が参加した。

(5) ブダペスト市：与党フィデス支持団体による抗議活動 (13日)

与党フィデスを支持する市民団体「市民団結フォーラム(CÖF)」は、週刊誌「マジダル・ナランチ」にヒトラーに模したオルバーン首相の顔写真が掲載

されたことに抗議するデモをブダペスト市内の同誌編集部前で実施し、約2千500～3千人が参加した。

(6) 国境管理の厳格化 (15日)

移民・難民対策に関する関連法改正案の一部が施行され、国境管理が厳格化された。

(ア) 取締りの強化

フェンスを破壊又は超えた場合は、3年以下の懲役。フェンス以外の国境を越えて入国した場合は、軽犯罪として罰金刑。逮捕された場合、その後難民資格を申請しても却下される。

(イ) セルビア国境での手続

セルビアから到着した難民は、ルスケあるいはトンパにおける正規の国境通過点にて難民資格の申請が可能。同地点にて個人情報の登録、指紋採取及び顔写真の撮影が行われ、これらの情報はEUのデータベースに登録される。

難民資格申請者は、24時間以内に決定が下されない場合、(国境通過点脇に設置された) トランジットゾーン内の簡易宿泊所に滞在する。トランジットゾーン滞在をもってハンガリーに入国したとは見なされない。申請に対する決定は8日以内に下され、申請者は2日以内に裁判所に訴えることができる。申請が却下された場合、セルビア側に退去させられる。

保護者のいない子供は青少年施設に移送。老人、病人、小さな子供を有する家族等は難民キャンプに移送され、従前どおりの手続を受ける。

(7) 非常事態宣言の発出 (15日, 18日)

15日、ハンガリー政府は、セルビアと国境を接するバーチ＝キシュクン県及びチョングラード県において、「難民流入によって引き起こされる危機的状況による非常事態宣言」を発出した(2016年3月15日まで有効)。これにより、難民関連裁判の優先的実施、国有資産の難民対応への利用、難民関連施設への政府調達要件の免除等が可能となった。

18日にはクロアチア、スロベニア及びオーストリアと国境を接するバラニャ県、ショモジ県、ザラ県及びヴァシュ県においても非常事態宣言が発出された(2016年3月18日まで有効)。

(8) ハンガリー・セルビア国境付近での難民による騒擾 (16日)

午後3時頃、高速道路M5線脇一般道上の国境通過点ルスケ(セルビア側ホルゴシュ)付近で、難民がフェンスを破壊しようとしたため、ハンガリー警察、テロ対策センター(TEK)及びハンガリー軍(ヘリコプター)が同地に出動し

た。その後フェンスは破壊され、ハンガリー警察は放水車での放水を実施し、催涙ガスを噴射した。また、難民はこれに対しペットボトルや石を投げるなどして応戦した。フェンスがあった場所には、警察機動隊が立ち並ぶことで人間の壁を作り、難民 300 人程度と押し合いの状態となった。同騒擾は同日夜に沈静化した。

(9) クロアチアからの難民流入 (18 日～)

15 日にハンガリーがセルビアとの国境管理を厳格化したことに伴い、セルビアからのハンガリー入りを断念した難民がクロアチアに迂回した結果、大量にクロアチアに流入したことから、18 日以降、クロアチア政府が難民をバス及び列車でハンガリーとの国境検問所に移送した。また、オルバーン首相は、18 日未明にハンガリー・クロアチア国境で 41km のフェンスの建設を開始したと発表した。

19 日未明には、クロアチアから難民約千人および同国警官約 40 人を乗せた列車が到着し、事前に連絡を受けていなかったハンガリー警察が列車に同乗していたクロアチアの警官 40 人を拘束して武装解除、運転士を逮捕するという事案が発生した。ハンガリー政府は、武器を携帯したクロアチア警官がハンガリー領土に侵入したとして、激しく抗議した。

(10) 国防法及び警察法の改正 (22 日)

移民・難民対策に関する関連法改正案の残余分が施行され、国防法及び警察法が改正された。

(ア) 国防法の改正

ハンガリー軍は、「難民流入によって引き起こされる危機的状況による非常事態宣言」が発出された地域において、警察活動（職務質問、荷物及び車両の検閲、拘束及び逮捕）、特定の地域の閉鎖及び国境警備への参加が可能となり、致死に至らない限りにおいて、ゴム弾、閃光弾、催涙弾及び捕獲ネット等の武器の使用が許可される。

(イ) 警察法の改正

ハンガリー国家警察は、ハンガリー国外にて、ハンガリー国境における秩序を危険にさらす行動またはテロに関連する行動（人身売買行為を含む）についての情報活動が可能となり、また、「難民流入によって引き起こされる危機的状況による非常事態」において、道路・公共施設等の閉鎖及び使用制限、一般市民宅への家宅捜索が可能となる。

2 **国防相の交代**（7日）

ヘンデ国防相は、国防問題に関する臨時閣議後、オルバーン首相に辞表を提出し、オルバーン首相はこれを承認した。その後、オルバーン首相はシミチコー人材省スポーツ担当副大臣に国防相の任務を遂行するよう指示した。その後シミチコー人材省スポーツ担当副大臣は、公聴会、アーデル大統領の任命を経て10日に国防相に就任した。

3 **ロガン・フィデス国会議員団長：新設ポストに就任**（16日）

ロガン・フィデス国会議員団長は、10月1日付で新設のオルバーン首相付官房長官ポストに就任すると発表した。ロガン氏の後任にはコーシャ・フィデス副党首が選出された。

II 外 交

1 **移民・難民問題関連**

(1) オルバーン首相：EU 首脳と移民・難民問題への対応について会談（3日）

ブリュッセルを訪問したオルバーン首相は、移民・難民問題への対応についてユンカー欧州委員長、シュルツ欧州議会議長、トゥスク欧州理事会議長と会談したところ、それぞれの会談後のオルバーン首相の発言概要は以下のとおり。

(ア) ユンカー欧州委員会委員長

欧州が対峙しているのは難民問題ではない。多くは戦争から逃れた難民ではなく、より良い生活のために欧州を目指している。期待を抱かせてはならない。

欧州域外との国境を守ることが最優先の課題であり、全ての基本である。クオータ制も含めたその他の措置は、その後である。ハンガリーはフェンス設置による物理的な国境保護の正当性を確信している。

難民危機により欧州域内の移動の自由が危ぶまれている。シェンゲンを守らなければならない。シェンゲンの失敗は欧州の価値に反する。

クオータ制は欧州を目指す者への招待状であり、幻想である。欧州のリーダー達が皆を受け入れるとのメッセージを送り続けるのなら、数千万人が国境に現れる時がくるだろう。

(イ) シュルツ欧州議会議長

EUの指導者が状況に対処できないのを目の当たりにして、我々ハンガリー人も、欧州の人々もまた、恐怖でいっぱいである。

ハンガリーは、シェンゲン国境を守って自らの責任を果たしている。そのため批判されるべきではない。

EUのルールは極めて明確である。誰も登録（難民申請）なしにハンガリーから出国することはできない。

これは欧州の問題ではなく独の問題である。誰もハンガリーやスロバキア、ポーランド、エストニアにとどまることを望んでおらず、独に行くことを望んでいる。我々の仕事は彼らを登録することのみである。

(ウ) トゥスク欧州理事会議長

ハンガリーには引き続き国境を守る義務がある。ハンガリーはシェンゲン協定の規定を遵守し、シェンゲン協定加盟国であり続ける。

(2) ルーマニア国境へのフェンス設置計画 (17日)

シーヤールトー外務貿易相は、ルーマニアからの不法移民の入国を阻止するために、ルーマニアとの国境の内、70kmにわたってフェンスを設置する計画であると発言した。

(3) オルバーン首相：臨時欧州理事会に出席 (23日)

ブリュッセルを訪問したオルバーン首相は、臨時欧州理事会に出席し、6つの提案（①EUによるギリシャ国境管理、②シェンゲン域外における難民と経済移民の峻別、③EUとして安全な第三国を決定、④新財源の確保、⑤トルコ、ロシア等とのパートナーシップ確立、⑥世界クォータの設置）を行った。

理事会後、「オ」首相は、同提案のうち、5つ（上記②～⑥）については認められたが、ギリシャが域外国境を防衛できない場合にEUが共同で対処に当たることについては、合意できなかった。これは6つの提案中最も重要だったため、残念である、つまり、EUの域外国境は今後も守られず、ギリシャを経由して不法に難民がやって来るといふことであると述べた。

(4) オルバーン首相：ファイマン・オーストリア首相との会談 (25日)

ウィーンを訪問したオルバーン首相はファイマン・オーストリア首相と会談した。

会談後、オルバーン首相は、ハンガリーは、オーストリア人がハンガリー人のことをナチスと同視したことを忘れる用意がある。ハンガリーとオーストリアは、法的には同じ船に乗っており、両国は助け合うべきであると述べた。また、ハンガリー・クロアチア国境にも、ハンガリー・セルビア国境と同様の国境管理体制を構築すべきであるとして理解を求めた。

(5) スロベニア国境へのフェンス設置中止 (25日)

ハンガリー内務省は、25日午前にハンガリー軍がハンガリー・スロベニア国

境に実験的にフェンスの設置を行ったが、同日午後には同フェンスを撤去したと発表した。

(6) ピンテール内相：ジュニダル・スロベニア内相との会談 (28日)

ハンガリー・スロベニア国境通過点付近（スロベニア側 Dolga Vas）を訪問したピンテール内相は、ジュニダル・スロベニア内相と会談したところ、会談後の記者会見における発言の概要以下のとおり。

両国は、ハンガリー・スロベニア国境全域にて、両国警察による国境の共同警備を開始し、常に最新の情報を共有することで一致した。

今次会談は大変建設的であり、両国の警察間においてあらゆる疑念が払拭されたことを望む。

（なぜハンガリー・スロベニア間に一時的なフェンスの設置が必要であったのかとのスロベニアメディアからの質問に対し、）クロアチアとの国境では大量の不法入国者への対応を続けているが、クロアチアが別の方向へ不法移民を移送する場合に備えて、事前の通告を行った後にスロベニアとの国境にも一時的な国境管理を行う可能性を検討したまで。シェンゲン域内において、すべての加盟国は、特定の期間、特定の目的の下、国境の検問を導入することが可能である。

2 **シーヤールトー外務貿易相：中国抗日戦争 70 周年式典出席** (3日)

シーヤールトー外務貿易相は中国を訪問し、抗日戦争 70 周年式典に出席した。シーヤールトー外務貿易相は、軍事パレードに出席した他、李源潮副国家主席を表敬した。李国家副主席は、シーヤールトー外務貿易相の同式典出席に感謝すると共に、ブダペストが 2017 年中欧・中国首脳会合の開催地として名乗りを挙げたことに感謝した。一方シーヤールトー外務貿易相は、李副国家主席に対し、中国企業による投資がハンガリーの経済成長に貢献しているため、今後も中国によるハンガリーへの投資の増加ペースを維持するよう支援を要請した。

3 **大規模 NATO 軍事演習の開催** (14日)

ハンガリー主導の多国籍大規模軍事演習「Brave Warrior」が 9 月 14 日から 10 月 21 日の間ハンガリー国内で開催されている。

同演習には、NATO 加盟国で実施されている NATO 軍事演習の一部として、7 か国、総勢 1,200 名以上の兵士が参加する予定。スロバキア、ウクライナ、スロベニア、ルーマニア、クロアチアに加え、欧州に駐屯する米軍のサブユニ

ットから約 500 名参加する。

4 第 70 回国連総会 (26～10 月 3 日)

(1) アーデル大統領の潘国連事務総長との会談 (26 日)

アーデル大統領は、潘国連事務総長と会談し、国連によるシリア難民に対する支援増額を要請したほか、シリア難民の再移転割当てに関して、米国、カナダ、オーストラリア、中国といった EU 域外国にも負担をしてもらうというハンガリーの取組を支援するよう要請した。

(2) オルバーン首相のサイドイベントでの演説 (30 日)

第 70 回国連総会出席のため NY を訪問したオルバーン首相は、サイドイベント「新たな開発アジェンダの下での移民及び難民に関する協力の強化」で演説したところ、同演説概要は以下のとおり。

(ア) 移民問題による負担を、欧州のみで引き受けることは不可能である。国際政治におけるすべての重要なプレイヤーが、グローバルな移民の再移転割当て制度の一環として、移民の一部を受け入れなければならない。

(イ) 移民の大量流入は欧州の不安定化をもたらすだろう。様々な憶測はあれど、ハンガリー国境には、シリア、イラク、パキスタン、アフガニスタン及びサブサハラ地域から際限なく人々が到着しているという理屈ではなく事実がある。

(ウ) (移民たちは、) 彼らの国における悪政、それぞれの地域で紛争を引き起こすに至った誤った国際政治の決断、実現不可能な希望を抱かせた我々欧州の政治、そして巨大な市場となった人身売買業の被害者であり、彼らが直面している困難の大きさは、言葉にできない。これらの人々に母国を返してやるのが我々の道徳的義務である。欧州での新しい生活を彼らに与えることが我々の目的であってはならない。彼らが自分の人生を自分の国で取り戻すため、平和構築と経済成長のための計画策定を通じて、支援を行わなければならない。

(エ) キリスト教は、いかなる反イスラム政治も許容しない。我々が敬意を払うイスラム教は、移民流入の根本的な原因ではない。反イスラム的な雰囲気形成を阻止するための取組に加わるよう、すべての人に呼びかける。

(3) シーヤールトー外務貿易相：国連総会一般討論演説 (10 月 3 日)

シーヤールトー外務貿易相の第 70 回国連総会一般討論演説概要は以下のとおり。

(ア) 移民問題は、グローバルな対応が求められるグローバルな課題であり、

Hungary

その解決のためには、国連が主導的な役割を果たし、国際政治及び国際経済の主要なプレイヤーが参加することが必要である。ハンガリーは、①国際協力による移民危機の解決、②中東・北アフリカの紛争地域の安定化、③グローバルな移民の再移転割当て制度の導入、④国連による平和維持機能の拡大、⑤国連による持続可能な成長に関する目標の達成の5項目から成る行動計画を提案する。

(イ) ISIL の打倒及びシリア危機の解決のためには、可能な限り広範囲での地球規模での行動及び NATO・ロシア間の協力が必要である。問題の解決のためには、最も幅広いレベルでの協力がなされなければならないとのメルケル独首相の主張に同意する。

(ウ) 国連が密航業者に対して措置をとるよう要請する。特に重要な EU の域外国境警備は、欧州が共同で実施しなければならない。EU はまた、トルコ、ヨルダン及びレバノンに設置されている難民キャンプの維持と拡張のための財政支援を行わなければならない。

(エ) キリスト教国家を代表する政治家として、反イスラム主義を拒否する。

III 経 済

1 8月製造業購買担当者指数 (PMI) , 7月から回復 (1日)

ハンガリーロジスティクス購買協会 (MLBKT) が発表した8月の製造業購買担当者指数は、7月から回復し 50.7 だった。同指数は景況感の示す上で節目となる 50 を 2013 年 7 月以降、23 か月連続で超えていたが、先月約 1 年ぶりに 50 を割り 49.9 だった。

2 WizzAir : 新格納庫を開設 (1日)

格安航空会社 WizzAir は、ブダペスト空港に 2000 m²規模の格納庫を開設した。同社はブダペスト空港と 15 年間のリース契約を締結し、ルフトハンザの技術スタッフメンテナンスを行うことになる。

同社 CEO の Jozsef Varadi 氏は、オープニングセレモニーの場で、ブダペスト空港をベースとした機体を 10 機まで増加しており、事実上、ハンガリーのナショナルフラッグとなっている旨述べた。

なお、10 億フォリント規模の同格納庫は、オルバーン首相に近いガラランチ氏が所有する建設会社によって建設された。

3 **モルガンスタンレー、2015年GDP成長率見通しを2.9%に引き下げ**（1日）

大手投資銀行モルガンスタンレーは、ハンガリーの2015年並びに2016年GDP成長率見通しをそれぞれ3.5%から2.9%に、2.5%から2.4%に引き下げた。但し、見通しを引き下げても、基本的な経済見通しの考え方、たとえば、国内需要が経済成長の牽引役になる点などは、引き続き変わりはないとした。

ハンガリーの格付けについては、今年中に少なくとも大手格付け会社のうち、2社が方向性を「ポジティブ」に引き上げ、さらに来年には投資適格に格上げされるとの見通しを示した。

インフレ見通しは、2015年並びに2016年の見通しについて、それぞれ2.2%から1.9%、2.8%から2.5%に下方修正した。

政策金利については現在の1.35%が継続するとみている。

4 **政府管理債務庁：国債の海外調達比率を引き下げ**（2日）

政府管理債務庁は、今年初めに起きた証券スキャンダル以降、国内投資家がリスク回避のため国債を購入する傾向が見られることを明らかにした。その一方で、外貨建て国債比率の低下により、年間の償還コストは2010年の対GDP4%から2016年には3.5%に減少する見通しである。

外貨建て国債割合は現在33%であるが、今年中には32%に下がる見通しで、将来的には10%以内に減らしたいとの意向を示した。

5 **8月の新車販売台数は前年比4.8%増**（2日）

8月の国内新車販売台数は前年比4.8%増、5,006台だった。前月の14.4%増と比べて失速した。また、本年1月－8月期では49,000台以上を販売し、前年同期比11.7%増だった。

ブランド別（乗用車のみ）では、616台を販売したオペルが首位となり、591台を販売したフォードが2位、3位は512台を販売したマジェール・スズキだった。モデル別販売台数では、シュコダのOctaviaが334台でトップ、先月トップだったスズキのVitaraは302台で2位だった。

法人購入が76%を占めた。個人購入ではマジェール・スズキがトップだった。

6 **中央統計局：第2四半期GDP（確報）、前年比+2.7%**（4日）

第2四半期GDP確報が発表され、先月発表した速報値と変わらず前年比+2.7%で、第1四半期の+3.5%から減速した。供給サイドから見た場合、農林水

産業が▲16.8%と大幅に減速した。一方、製造業と建設業はそれぞれ、+7.0%、+6.5%と好調だった。GDPで最大セクターのサービス業は+2.4%で足を引っ張る形となった。

7 **ハンガリー中央銀行：ブダペスト証券取引所を買収検討**（4日）

ハンガリー中央銀行は、ブダペスト証券取引所を買収検討中であることが報じられた。ゲルハルド副総裁は、現在買収交渉が進行中であり、今後数ヶ月以内に正式発表されるだろうと述べた。副総裁は、ハンガリー企業が資本市場から資金調達しやすいように証券取引所を活性化させたいとの意向を明らかにした。

同取引所の株主構成は、CEE Stock Exchange Group50.5%、Osterreichische Kontrollbank18.3%、ハンガリー国立銀行 6.9%等となっている。

8 **Főgáz社：GDF Suez社を買収**（7日）

国営ガス配送会社 Főgáz社は、仏 GDF グループ系列の GDF Suez ハンガリー社を買収した。買収価格は公表されていない。GDF Suez社は今年の春に家庭向けガス営業ライセンスを返却していた。その結果、政府によるガス価格強制引下げの後にライセンスを返却した他の外国資本ガス会社と同様に、顧客は Főgáz社に引き継がれることになった。

GDF Suez ハンガリー社は昨年 1,400 億フォリントの利益を生んでいた。

今回の買収において最も重要な結果の一つは、従業員も Főgáz社に引き継がれ雇用が守られることになる旨、GDF社側は強調した。

9 **中央統計局：消費者物価指数4ヶ月連続プラスならず**（8日）

8月の消費者物価指数は前年同月比横ばいだった。同指数は、昨年9月以降、毎月マイナスが続いていたが、5月から3か月連続でプラスに転じていた。なお、1-8月の消費者物価指数は▲0.2%で、食品とエネルギーを除くコア指数は+1.2%だった。

政府は、原油価格の下落と公共料金値下げの影響によるものと説明している。

Erste銀行のアナリストは、今年12月までに同指数は+2%程度にまで上昇し、通期で+0.2%になると予測している。

10 **首相府：ハンガリー開発銀行，国内に 400 支店創設**（8 日）

EU 補助金を企業が円滑に活用できるよう，ハンガリー開発銀行（MFB）が，今後国内に 400 の支店を開設することを首相府が発表した。400 支店のうち，397 支店がブタペスト市外に開設される予定である。

このスキームの運用に際して，MFB は各地方銀行と提携し，地方銀行は MFB のサポートを行う。MFB は今秋にもパートナーとなる地方銀行の選出を行う予定である。

11 **新パイプラインによるスロバキアからのガス輸入開始**（8 日）

160 百万ユーロを投じて建設されたスロバキアとの新パイプラインを通じて，初めて，約 2,250 立方メートルの天然ガスの輸入が行われた。今後，更に多くのガス輸入が行われる可能性がある。

12 **外務貿易省：新たな外貨資金調達スキームの設立**（9 日）

ハンガリー外務貿易省，ハンガリー輸出入銀行（EXIM）及び 15 の当国商業銀行の間で，ハンガリー企業の輸出能力拡大を目的とした新たな外貨資金調達スキームの設立に関する協定に署名したと発表した。

今回の新たな枠組みにより，来年，ハンガリー企業は，輸出能力を拡大することを目的に総額約 1,420 億フォリント相当の外貨資金調達が可能になる。

13 **アウディ社：第 2 ロジスティックセンターを開設**（9 日）

独系アウディ・ハンガリー社は，100 億フォリントを投資して，ジュール市に第 2 ロジスティックセンターを開設した。現在の 440 人の従業員に加えて，700-1,000 人の雇用が創出される予定である。

同開所式典に出席したシーヤールトー外務貿易大臣は，今年上半期のハンガリー自動車産業の生産高は，前年同期比 16%増であり，製造業全体の 30.4%を占めている旨，強調した。

14 **Moody's：ハンガリーの格付けについて言及**（11 日）

大手格付け会社 Moody's は，年に 1 回公表するクレジット分析のなかで，ハンガリーについて，経済の持続的成長や政府債務の減少に明らかな兆しが表れ

れば、国債の格付けを現在の「Ba1」から引き上げる可能性があることを言及した。Moody'sは11月6日に格付けの見直し結果を発表する予定である。

一方で、財政赤字をGDP対比で3%以下に抑える方針が弱まったり、成長見通しに影響するような政策が導入された場合には、格下げの圧力が生まれる、とコメントした。

15 **BoA : Fitch の格付けの方向性についてコメント** (11日)

大手銀行バンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ (BoA) のアナリストは、大手格付け会社 Fitch が、年内に格付けを投資適格級に引き上げる可能性がある、とコメントした。

ハンガリーの財務状況は改善に向かっており、低インフレ、経済の回復、外貨建てローンのフォリント化が格付けを引き上げる理由になるとしている。

Fitch は今年 11 月 20 日に格付けの見直しを発表する予定である。

16 **S&P : ハンガリーの格付け、方向性ともに据え置き** (18日)

大手格付け会社 S&P は、ハンガリーの格付けを従来通りの BB+, 「安定的」に据え置いた。金融市場では、今回「ポジティブ」に引き上げられるとの見方が出ている。同社は、ハンガリーの 2015 年から 2018 年の平均成長率を 2.4% と予測しており、この数字は同国の潜在成長率ならびにポーランドやトルコの成長率を下回るとしている。

S&P はリスク要因として経済政策の不透明性を挙げ、また 2008 年以前に比べ、他国への移住者が増えており、1992 年と比べて人口が 5%減少していることを懸念点として指摘している。

17 **ハンガリー中央銀行：政策金利据え置き** (22日)

22日、月例金融政策決定会合が開催され、政策金利を事前予想通り、1.35%に据え置いた。あわせて、政策金利の対象を従来の2週間預金金利から3ヶ月預金金利に変更することを発表した。

18 **シーヤルトー外務貿易大臣、貿易ハウスの日本オフィス設立可能性について発言** (23日)

シーヤルトー外務貿易大臣は、ハンガリー貿易ハウスの海外オフィスについて、今後、日本、イラン、韓国に設立される可能性があることを発言した。

19 **ハンガリー中央銀行：インフレ、GDP見通しを発表** (24日)

ハンガリー中央銀行は、四半期ごとに公表するインフレレポートのなかで、2015年のインフレ率見通しを6月予測時点の年0.3%から横ばいに、2016年を年2.4%から年1.9%に、それぞれ下方修正した。中央銀行が中期目標に掲げる年3.0%に達するのは、これまでの到達予想時期より半年遅い、2017年後半とした。今回の見通しの背景として、国内の生産能力の過剰や世界的なコスト環境をあげた。

GDP予測については、2015年は3.3%から3.2%に若干下方修正したものの、2016年については従来予想の2.5%に据え置いた。景気は、2015年から2016年にかけて減速するものの、2017年に入りば再び加速するとみている。

GDPに対する財政赤字比率は、2015年は2.4%、2016年は2.0%にまで改善されるとしている。失業率は2016年までに6.2%まで改善する見通しである。

20 **ハンガリーにおけるガス備蓄の現状** (24日)

ガス備蓄オペレーター企業 Magyar Földgáztároló 社の発表によれば、ハンガリーのガス貯蔵施設に貯蔵されたガスの量は、現在約28立方メートルであり、上限の47%となっている。そして、同社は、過去の輸入及び消費パターンに鑑みると、この量は冬期における安定供給に十分な量である旨、保証している。近年、ガス消費量は減少傾向であり、2014年は90億立方メートルだった。ただし、同社は、備蓄レベルが高いに越したことはなく、10月もガス補充を継続する旨付言した。

21 **ハンガリー中央銀行：新20,000フォリント紙幣発行** (25日)

ハンガリー中央銀行は、今年12月14日から新20,000フォリント紙幣を発行すると発表した。現在の紙幣は2016年末まで流通し、2019年末まで銀行と郵便局は旧紙幣を新紙幣に交換する業務を行う予定である。

22 **MVM：大規模太陽光発電所建設に着手** (25日)

MVMは35億フォリントを投資して、ペーチ市に出力7MW規模の中央ヨーロッパ最大規模の太陽光発電工場を設立する旨、与党フィデスのチズィ議員は発表した。20ヘクタールの敷地はペーチ市が提供し、約14万㎡の太陽光パネルが設置され、工事は12月までに完了する予定である。

年間発電量は、1,600 の家庭の一年間の電力をカバーする予定である。

ハンガリー政府は、2020 年までに全消費量の 15% の電力を太陽光発電で賄うことを約束している。

23 **VW 社の 200 万台のエンジンがハンガリー工場で製造** (30 日)

ヴァルガ国家経済相は、スキャンダルの渦中にある 1,100 万台のディーゼルエンジンのうち 200 から 250 万台がジュール市の工場で生産されていた旨、明らかにした。また、同大臣は、「たったの」20~25% のエンジンがハンガリーで製造されたことが、ハンガリー経済に大きな打撃を与えることはない旨主張した。一方で、長い目で見れば、ハンガリー輸出産業にとって良いことではない旨、同相は認めた。同相は、自動車産業の代替として、製薬、医療機器、機械部品を挙げた。

アウディ社は、ハンガリーの輸出全体の 9% を占め、昨年は 2.2 兆フォリントの収益をあげた。

24 **ハンガリーの国際競争力ランキング、第 63 位に後退** (30 日)

世界経済フォーラム(WEF)が発表した 2015 年版の国際競争力ランキングによれば、ハンガリーの競争力は第 63 位で昨年の第 60 位から 3 ランク後退した。ハンガリーのランキングは、近年第 60 位前後で推移している。

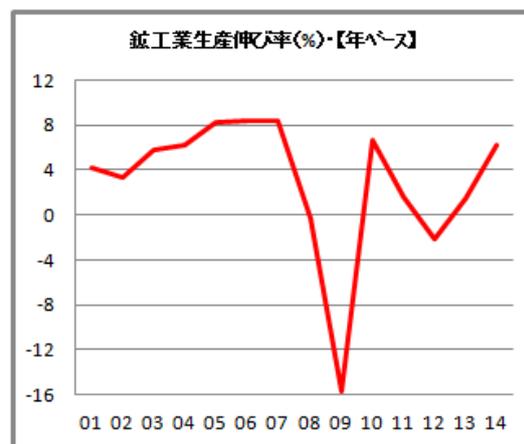
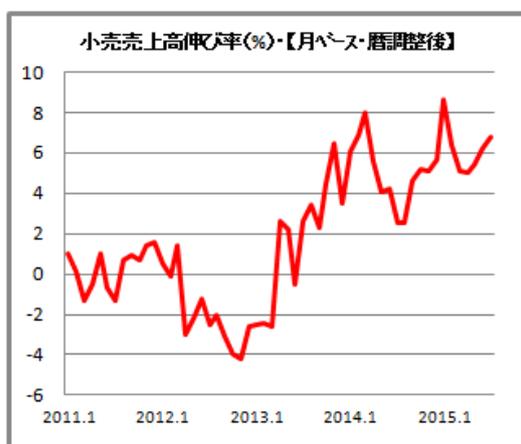
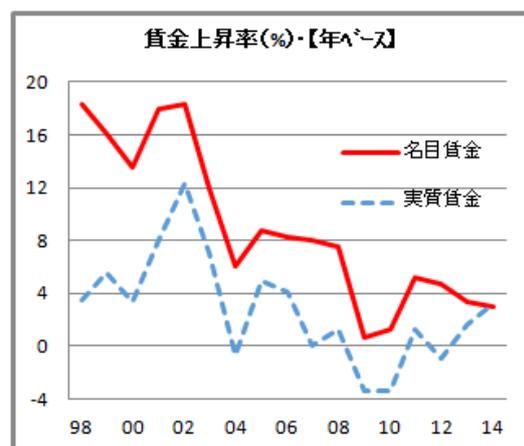
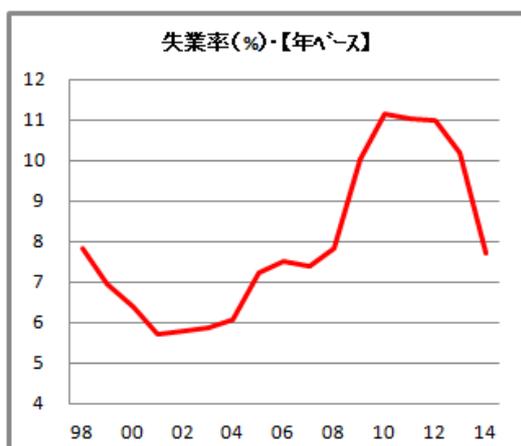
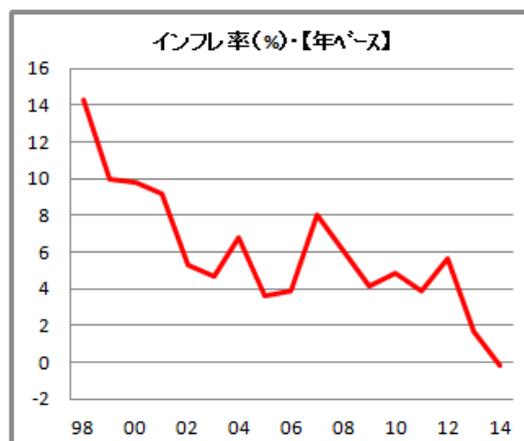
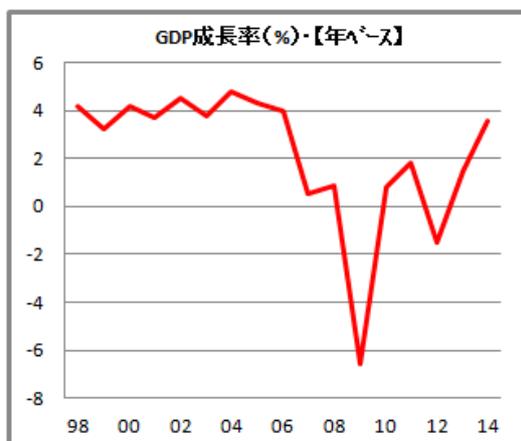
ハンガリーの主な問題点として、技術力不足、不安定な経済政策、汚職、お役所主義、高い税金をあげている。このほか、教育水準の低さ、大きな収入格差、高い技術を持った労働者を国外流出を課題として指摘している。

一方、長所として、地理的優位性、健康、低い関税、起業のしやすさをあげている。

ほかの V4 国は、チェコ第 31 位 (昨年第 37 位)、ポーランド第 41 位 (同第 43 位)、スロバキア第 67 位 (同第 75 位) といずれも順位を上げている。日本は、昨年同様第 6 位だった。

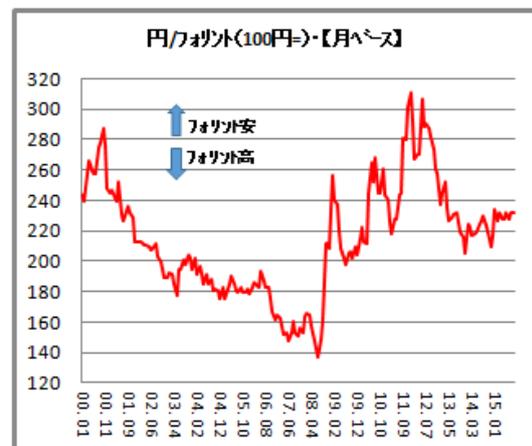
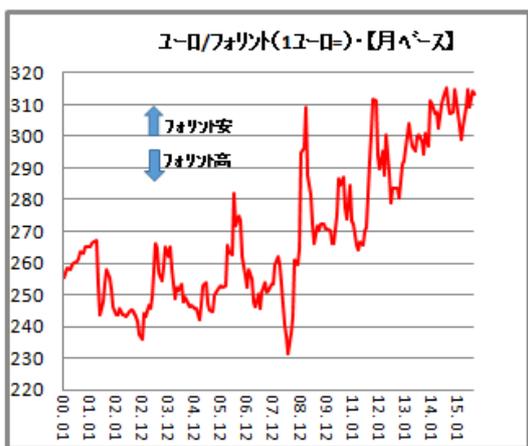
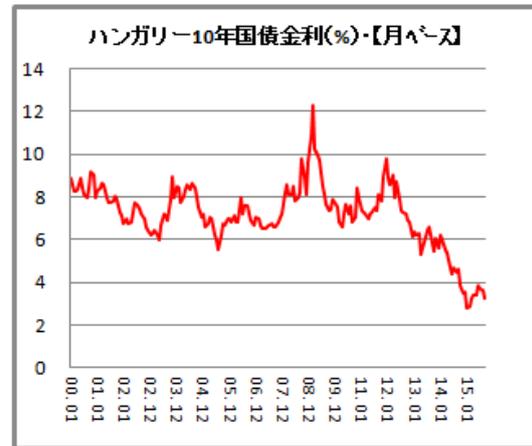
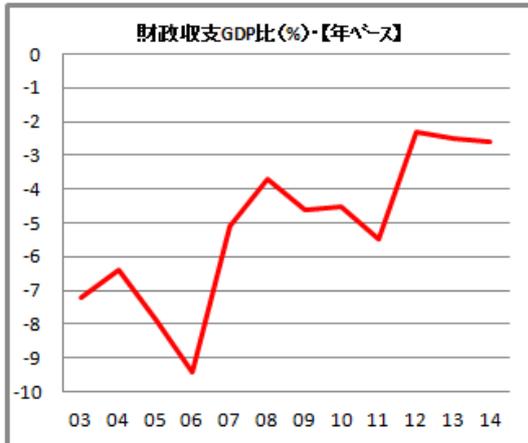
IV その他

《ハンガリー経済データ》



出所ハンガリー中央統計局, ハンガリー中央銀行

Hungary



出所ハンガリー中央統計局, ハンガリー中央銀行

《2015年9月の選挙・支持政党に関する世論調査》

(1) 支持政党の変遷（確実に投票に行くと回答し、いずれかの政党を選択した者の支持政党）

	(4月)	(6月)	(9月)
フィデス (Fidesz)	: 38%	38%	41%
社会党 (MSZP)	: 17%	15%	17%
ヨッビク (Jobbik)	: 27%	28%	26%
新しい政治の形 (LMP)	: 7%	5%	5%
民主連合 (DK)	: 6%	9%	7%
共に (EGYÜTT)	: 2%	1%	1%
ハンガリーのための対話 (PM)	: 0%	0%	0%
その他の政党	: 2%	3%	3%

(2) 質問事項：仮に今週日曜日に総選挙があるとすればどの党に投票するか（質問者全員よりの回答）。

	(4月)	(6月)	(9月)
フィデス (Fidesz)	: 21%	20%	24%
社会党 (MSZP)	: 11%	9%	10%
ヨッビク (Jobbik)	: 17%	15%	14%
新しい政治の形 (LMP)	: 5%	4%	3%
民主連合 (DK)	: 3%	4%	4%
共に (EGYÜTT)	: 1%	1%	2%
ハンガリーのための対話 (PM)	: 0%	0%	0%
その他の政党	: 3%	3%	5%
わからない, 投票しない	: 39%	44%	38%

(注) ソンダ・イプソス社調べ（9月7日～15日データ収集, サンプル数：18歳以上の市民1,000人）。5月, 7月, 8月は調査を実施せず。

2015年9月の出来事

日	内政	日	外政
3	・【難民問題】ビチケ難民キャンプ近くで混乱	3	・【大統領】当地訪問のパホル・スロベニア大統領と会談
4	・【難民問題】移民・難民関連法改正案の一部可決		・【首相】ブリュッセル訪問, 難民問題につき協議
		4	・【外貿相】中国訪問, 抗日戦争 70 周年式典出席
		4	・【首相】臨時V4首脳会合出席(於: チェコ)
		5	・【外貿相】EU 非公式外務理事会出席(於: ルクセンブルク)
7	・ヘンデ国防相が辞任		
10	・シミチコー新国防相が就任	11	・【首相】当地訪問のヴェーバーEPP院内総務と会談
			・【外貿相】V4+ルクセンブルク外相会合出席(於: チェコ)
13	・【難民問題】市民団体によるデモの実施		
15	・【難民問題】セルビア国境警備の厳格化, バーチ=キシクン県, チョングラード県で難民に関する非常事態宣言発出	15	・【外貿相】当地訪問のサイド・アル=マンスーリ・アラブ首長国連邦経済相と会談
16	・【難民問題】セルビア国境近くルスケ村で騒擾,		
18	・【難民問題】バラニャ県, ショモジ県, ザラ県, ヴァシュ県で非常事態宣言発出		
		21	・【外貿相】V4 臨時外相会合出席(於: チェコ)
22	・【難民問題】国防法及び警察法改正	22	・【外貿相】当地訪問のツァン香港財政庁長官と会談
			・【内相】臨時欧州内務理事会出席(於: ルクセンブルク)
		23	・【首相】臨時欧州理事会出席(於: ブリュッセル)
		24-27	・【大統領】ニューヨーク訪問, 国連開発サミット出席
		25	・【首相】オーストリア訪問, ファイマン嶼首相と会談
		28-3	・【首相】【外貿相】ニューヨーク訪問, 国連総会出席
			・【内相】ジュニダル・スロベニア内相と会談

Hungary

E-Mail

政務関係 : political@bp.mofa.go.jp

E-Mail

経済関係 : economic@bp.mofa.go.jp

E-Mail

広報文化関係 : culture@bp.mofa.go.jp

E-Mail

領事関係 : consul@bp.mofa.go.jp